

令和 6 年度

水道事業会計
【 決算概要 】

令和 7 年 10 月 27 日

滝沢市上下水道部

令和6年度水道事業会計決算概要

1 業務の概要

令和6年度末の給水人口（平均世帯人数による推計値）は、前年度比較で396人減の48,645人となりました。年間総配水量は、前年度比較で62,531^{m³}（1.2%）増の5,180,260^{m³}となりました。

また、有収水量は4,739,704^{m³}で、この結果、有収率は91.5%となり、前年度の92.4%と比較して0.9ポイント低下しました。施設利用率及び負荷率は前年度より高くなっています。

【表-1】業務概要

区 分 \ 年 度			令和6年度 ①	令和5年度 ②	比較増減	
					③＝①－②	③/②×100
給水人口	A	人	48,645	49,041	△ 396	△ 0.8 %
給水区域内人口	B	人	51,051	51,386	△ 335	△ 0.7 %
給水普及率	A/B	%	95.3	95.4	△ 0.1	－
年間総配水量	D	m ³	5,180,260	5,117,729	62,531	1.2 %
年間総有収水量	E	m ³	4,739,704	4,730,931	8,773	0.2 %
有収率	E/D	%	91.5	92.4	△ 0.9	－
一日最大配水量	F	m ³	15,829	16,219	△ 390	△ 2.4 %
一日平均配水量	G	m ³	14,192	13,983	209	1.5 %
配水能力	C	m ³	19,860	19,860	0	0.0 %
施設利用率	G/C	%	71.5	70.4	1.1	－
負荷率	G/F	%	89.7	86.2	3.5	－

2 決算の概要

(1) 収益的収支

営業収益は、前年度比1.2%増の931,288,880円、営業費用は、0.1%減の803,637,955円で、この結果、営業利益は、前年度比較11,410,433円増（9.8%増）の127,650,925円となりました。

また、営業外収益は、前年度比6.8%減の98,097,157円、営業外費用は、4.4%減の24,855,135円で、この結果、経常利益及び当期純利益は、前年度比較5,375,380円増（2.7%増）の200,892,947円となりました。

【図-1】収益的収支

単位:円(税抜)

収 入	給水収益	受託工事収益・ 他会計負担金・ 加入金・手数料	引当金戻入益・ 長期前受金 戻入	他会計 補助金	預金利息・ 雑収益
	853,549,835 82.9 %	77,739,045 7.6 %	93,366,480 9.1 %	4,090,000 0.4 %	640,677 0.1 %
	営業収益 931,288,880 90.5 %		営業外収益 98,097,157 9.5 %		
支 出	維持管理費・ その他営業費用	減価償却費・ 資産減耗費	支払利息	雑支出・そ の他営業 外費用	当期純利益
	384,368,065 46.4 %	419,269,890 50.6 %	24,286,432 2.9 %	568,703 0.1 %	200,892,947
	営業費用 803,637,955 97.0 %		営業外費用 24,855,135 3.0 %		(対収入比 19.5 %)

【表-2】前年度との比較(収益的収支)

収 入

単位:円(税抜)

区 分	令和6年度 A	令和5年度 B	比 較 増 減	
			C=A-B	C/B×100
水道事業収益	1,029,386,037	1,025,866,739	3,519,298	0.3 %
営業収益 A	931,288,880	920,585,713	10,703,167	1.2 %
給水収益	853,549,835	850,888,763	2,661,072	0.3 %
受託工事収益	6,454,000	0	6,454,000	皆増
その他営業収益※1	71,285,045	69,696,950	1,588,095	2.3 %
営業外収益 B	98,097,157	105,281,026	△ 7,183,869	△ 6.8 %
引当金戻入益	6,111,145	5,655,375	455,770	8.1 %
長期前受金戻入	87,255,335	93,560,402	△ 6,305,067	△ 6.7 %
他会計補助金	4,090,000	4,538,000	△ 448,000	△ 9.9 %
預金利息・雑収益	640,677	1,527,249	△ 886,572	△ 58.1 %
特別利益 C	0	0	0	—

※1 内訳 : 他会計負担金 54,493,962円(うち下水道事業会計経費負担額54,472,962円)、水道加入金(187件)13,480,000円ほか

支 出

単位:円(税抜)

区 分	令和6年度 A	令和5年度 B	比 較 増 減	
			C=A-B	C/B×100
水道事業費用	828,493,090	830,349,172	△ 1,856,082	△ 0.2 %
営業費用 D	803,637,955	804,345,221	△ 707,266	△ 0.1 %
維持管理費	384,155,857	371,204,662	12,951,195	3.5 %
原水及び浄水費	132,860,551	138,409,207	△ 5,548,656	△ 4.0 %
配水及び給水費	62,520,686	55,016,744	7,503,942	13.6 %
受託工事費	6,454,000	0	6,454,000	皆増
業務費	111,866,026	110,182,457	1,683,569	1.5 %
総係費	70,454,594	67,596,254	2,858,340	4.2 %
減価償却費	398,341,514	410,223,422	△ 11,881,908	△ 2.9 %
資産減耗費	20,928,376	22,590,646	△ 1,662,270	△ 7.4 %
その他営業費用	212,208	326,491	△ 114,283	△ 35.0 %
営業外費用 E	24,855,135	26,003,951	△ 1,148,816	△ 4.4 %
支払利息	24,286,432	25,448,546	△ 1,162,114	△ 4.6 %
雑支出	568,703	549,205	19,498	3.6 %
その他営業外費用	0	6,200	△ 6,200	皆減
特別損失 F	0	0	0	—
営業利益 G=A-D	127,650,925	116,240,492	11,410,433	9.8 %
経常利益 H=G+B-E	200,892,947	195,517,567	5,375,380	2.7 %
当期純利益 I=H+C-F	200,892,947	195,517,567	5,375,380	2.7 %

(2) 資本的収支

資本的収支（消費税及び地方消費税込額）については、資本的収入が 149,955,000円、資本的支出が 703,034,260円であり、資本的収入が資本的支出に不足する額 553,079,260円は、減債積立金 115,368,630円、建設改良積立金 79,657,573円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 47,520,914円、過年度分損益勘定留保資金 310,532,143円で補てんしました。

なお、企業債償還金は、146,384,630円となっています。

【図-2】資本的収支

単位:円(税込)

収 入	企業債	出資金 ・負担金・補助金	補てん財源	減債積立金	115,368,630
149,955,000	100,000,000 66.7 %	49,955,000 33.3 %	553,079,260	建設改良積立金	79,657,573
				消費税等調整額	47,520,914
				損益勘定留保資金	310,532,143
支 出	建設改良費			企業債償還金 ・返還金	
703,034,260	555,562,352 79.0 %			147,471,908 21.0 %	

【表-3】前年度との比較(資本的収支)

単位:円(税込)

区 分	令和6年度 A	令和5年度 B	比 較 増 減	
			C=A-B	C/B×100
資本的収入	149,955,000	143,606,400	6,348,600	4.4 %
企業債	100,000,000	100,000,000	0	0.0 %
出資金	31,016,000	30,568,000	448,000	1.5 %
負担金	1,265,000	1,038,400	226,600	21.8 %
補助金	17,674,000	12,000,000	5,674,000	47.3 %
資本的支出	703,034,260	644,345,664	58,688,596	9.1 %
建設改良費	555,562,352	499,545,421	56,016,931	11.2 %
営業設備費	98,336,050	62,716,630	35,619,420	56.8 %
水道施設整備費	128,667,845	164,182,499	△ 35,514,654	△ 21.6 %
配水管整備費	328,558,457	272,646,292	55,912,165	20.5 %
企業債償還金	146,384,630	144,800,243	1,584,387	1.1 %
返還金	1,087,278	0	1,087,278	皆増

※1 他会計負担金は、消火栓新設・更新に係る一般会計からの基準内繰入金。

3 事業の概要

(1) 施策目標達成に向けた取組

第3次滝沢市水道事業ビジョン(令和5年度～令和14年度)に掲げる基本理念と施策目標のもと、経営の健全化と安全な水の供給に努めました。

【基本理念】信頼され続ける水道

【施策目標】安心・安全…安心して飲むことができる安全な水道
安定・強靱…安定した給水を実現する強靱な水道
環境・持続…環境に配慮した持続可能な水道

安心・安全 ……安心して飲むことができる安全な水道

- ・水道施設整備費

「滝沢浄水場外水質計器等更新工事」ほか3件

- ・水源の確保と保全

姥屋敷水源において井戸洗浄を実施、岩手山麓の良質かつ豊富な地下水の機能を維持し、利用を進め地下水比率を維持し、水道水源保全について、水道水源保護区域の見直しを行ったほか、水源保護用地として取得済み用地の刈払いを継続しました。また、「水安全計画」や、「水質検査計画」に基づき、水源水質の監視や検査を行い、水道水の水質管理を徹底し、安全でおいしい水の供給を継続しました。

安定・強靱 ……安定した給水を実現する強靱な水道

- ・配水管整備事業費

「配水管布設替(単子地区)工事」ほか9件 布設延長 L=1,260.9m
「漏水調査業務」 路面音聴 L=54km 発見箇所 5か所

- ・災害応急対策の充実

岩手県と滝沢市が合同で実施した総合防災訓練において、応急給水訓練を実施したほか、元村地区においても市民を交えた応急給水訓練を実施し、職員の災害、事故等への対応力と防災意識の向上に努めました。

環境・持続 ……環境に配慮した持続可能な水道

- ・広聴広報の充実

施設見学会や滝祭2024(滝沢市産業まつり)への出展、上下水道広報誌「ちゃぐ水だより」の発行(年3回)を行い、また、ホームページの全面リニューアルにより情報提供体制を強化しました。さらに、上下水道部のキャラクター「タッキー&サワー」を新たに作成し水道事業への理解を深めていただくとともに、市上水道給水開始50周年を記念した講演会等の各種事業を実施しました。

- ・人材育成と組織力の強化

技術の継承と専門知識の蓄積を目指し、組織内研修及びOJTのほか、外部の研修機関が開催するオンラインやオンデマンド方式対応の専門研修を受講しました。

(2) 主な指標の目標値の達成状況

水道ビジョンに掲げる施設整備や事業経営に関する主な指標の目標値及び達成状況は【表-4】のとおりとなっています。

- ・地下水比率は、今年度は0.2ポイント上昇し、99.5%でした。
- ・有収率は、今年度は0.9ポイント低下し、91.5%でした。引き続き、漏水防止対策に取り組むこととしています。
- ・管路耐震化率は、管路全体で0.4ポイント低下し、幹線管路(口径200mm以上)では0.3ポイント上昇しています。
- ・営業利益、経常利益とも増加し、経営資本営業利益率が0.09ポイント、経常収支比率が0.7ポイント、それぞれ前年度を上回る結果となりました。
- ・給水収益に対する企業債残高の割合については、今年度は6.15ポイント低下しました。

【表-4】指標達成状況

指標名	令和6年度	令和5年度	比較増減	目標値 (令和9年度)	目標値との差
地下水比率 (%)	99.5	99.3	0.2	≥ 99.5	↑ 0.0
有収率 (%)	91.5	92.4	△ 0.9	≥ 91.0	↑ 0.5
管路耐震化率(全線) (%)	34.7	35.1	△ 0.4	≥ 38.4	↓ 3.7
管路耐震適合率(全線) (%)	46.8	46.0	0.8	—	—
管路耐震化率(幹線) (%)	27.7	27.4	0.3	≥ 27.1	↑ 0.6
管路耐震適合率(幹線) (%)	52.1	51.0	1.1	—	—
経営資本営業利益率 (%)	1.17	1.08	0.09	≥ 0.5	↑ 0.67
経常収支比率 (%)	124.25	123.55	0.70	≥ 112.0	↑ 12.25
給水収益に対する企業 債残高の割合 (%)	223.51	229.66	△ 6.15	≤ 268.0	↑ 44.49
給水原価 (円/m ³)	155.03	155.74	△ 0.71	≤ 175.0	↑ 19.97
供給単価※ (円/m ³)	180.09	179.86	0.23	166.2	13.89

※ 供給単価の目標値の設定なし。参考値(令和5年度類似団体平均値)。

※ 「目標値との差」において、「↑」は達成、「↓」は未達成。

$$\text{経営資本営業利益率} = \frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100 = \frac{127,650,925}{10,937,921,825} \times 100 = 1.17 \%$$

$$\text{経営資本} = \frac{\text{期首} + \text{期末}}{2} = \frac{10,825,763,749 + 11,050,079,900}{2} = 10,937,921,825 \text{ 円}$$

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100 = \frac{1,029,386,037}{828,493,090} \times 100 = 124.25 \%$$

$$\text{給水収益に対する企業債残高の割合} = \frac{\text{企業債残高}}{\text{給水収益}} \times 100 = \frac{1,907,779,912}{853,549,835} \times 100 = 223.51 \%$$

$$\text{給水原価} = \frac{(\text{K})}{\text{年間総有収水量}} = \frac{734,783,755}{4,739,704} = 155.03 \text{ 円/m}^3$$

$$\begin{aligned} (\text{K}) &= \text{経常費用} - \text{受託工事費} - \text{長期前受金戻入益} \\ &= 828,493,090 - 6,454,000 - 87,255,335 = 734,783,755 \text{ 円} \end{aligned}$$

$$\text{供給単価} = \frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}} = \frac{853,549,835}{4,739,704} = 180.09 \text{ 円/m}^3$$